

新型断熱温度上昇 測定装置

MIT-686-3-31 型

コンクリートの断熱温度上昇試験方法(案)
(JCI-SQA3) 準拠

キャリブレーションなしで 高精度な試験に対応

高精度な温度測定と、
省コスト・省エネルギーを
両立する次世代モデルです。



※画像はイメージです



0.01℃

高精度計測
相対温度計測の
高精度化



30L

試験に必要な
コンクリート量
(従来機: 50L)



0.55kW

平均電力
使用量
(従来機: 2.1kW)



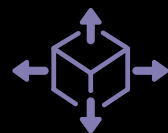
100V 20A

導入しやすい
電源仕様
(従来機: 200V 15A)



再利用容器

消耗品コスト
廃棄物を削減



省スペース設計

設置しやすい
コンパクト設計

キャリブレーションなしで 高精度な試験に対応

工場出荷時に複数の補正値を
設定済み。キャリブレーション
なしですぐに試験開始が可能

低発熱コンクリートにも対応

低発熱コンクリートを含む
様々なコンクリートに対応

消耗品・電力を削減

再利用容器と省エネ設計により、
運用コストを低減



MARUI & CO., LTD.

低発熱コンクリートの長期試験にも対応。省コスト・省エネルギーを実現。

1 キャリブレーションなしで 高精度な試験に対応

長期試験にも対応。

2 低発熱コンクリートにも対応

低発熱コンクリートの
長期試験にも対応。

3 オリジナルデジタル回路で 高精度を実現

高性能 LSI と4層シールド基板・
トランス電源・デジタルフィルタにより、
0.01℃単位の超高精度な相対温度
測定を実現

4 コスト削減と環境負荷を低減

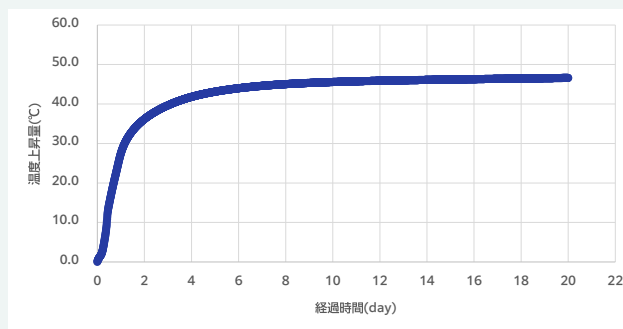
再利用容器の採用や低消費電力設計により、
消耗品コストの削減・廃棄物の削減・
電力使用量の削減を実現。

5 コンパクト・省スペース設計で 導入容易

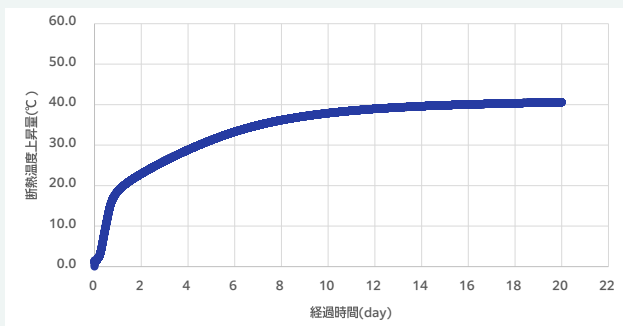
設置しやすい設計で、研究室・
品質管理室などに最適。

低発熱コンクリート試験での温度上昇例

普通ポルトランドセメント (単位セメント量 300kg/m³)



低熱ポルトランドセメント (単位セメント量 300kg/m³)



※本データは測定結果の一例です

仕様

測定方式	断熱温度上昇式 (相対温度計測)
無負荷時の 温度制御精度	10℃～ 85℃まで ±0.1℃/day 85℃～ 130℃まで ±0.2℃/day
試験容量	30L
電源	AC100V 20A 平均使用電力 0.55kW
外形寸法	W700×D1250×H1370mm
重量	約 250kg



総合試験機のメーカー

株式会社 **マルイ**

HP <https://www.marui-group.co.jp>

本社・工場 〒574-0064 大阪府大東市御領1丁目9-17
TEL:(072)869-3201 FAX:(072)869-3205

大阪営業所 〒574-0016 大阪府大東市南津の辺町2-39
海外部 TEL:(072)842-2010 FAX:(072)842-2013

東京営業所 〒130-0002 東京都墨田区業平3丁目8-4
TEL:(03)5819-8844 FAX:(03)5819-6260

九州営業所 〒812-0878 福岡市博多区竹丘町2-1-20 灰田ビル102号
TEL:(092)501-1200 FAX:(092)501-1277

当社校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業所です。
JCSS 0128 は、当社校正室の認定番号です。



JCSS
JCSS 0128

代理店

※ カタログに記載された内容は性能向上などのため、
予告なく変更することがあります。
最新情報はホームページをご確認ください▶

